



コマンドラインインターフェイスの使用

- [コマンドラインインターフェイスの使用に関する情報 \(2 ページ\)](#)

コマンドラインインターフェイスの使用に関する情報



(注) GUI および CLI の検索オプションでは、大文字と小文字が区別されます。

コマンドモード

Cisco IOS ユーザインターフェイスは、いくつかのモードに分かれています。使用可能なコマンドは、現在のモードによって異なります。各コマンドモードで使用できるコマンドのリストを取得するには、システムプロンプトで疑問符 (?) を入力します。

CLIセッションを開始するには、コンソール接続、Telnet、SSH、またはブラウザを使用できます。

セッションを開始するときは、ユーザーモード（別名ユーザー EXEC モード）が有効です。ユーザEXECモードでは、限られた一部のコマンドしか使用できません。たとえば、現在の設定ステータスを示す **show** コマンドや、カウンタまたはインターフェイスを消去する **clear** コマンドなど、ほとんどのユーザEXECコマンドは1回限りのコマンドです。ユーザーEXECコマンドは、**device**をリブートするときには保存されません。

すべてのコマンドにアクセスするには、特権 EXEC モードを開始する必要があります。特権 EXEC モードを開始するには、通常、パスワードが必要です。このモードでは、任意の特権 EXEC コマンドを入力でき、また、グローバル コンフィギュレーションモードを開始することもできます。

コンフィギュレーションモード（グローバル、インターフェイス、およびライン）を使用して、実行コンフィギュレーションを変更できます。設定を保存した場合はこれらのコマンドが保存され、**device**をリブートするときに使用されます。各種のコンフィギュレーションモードにアクセスするには、まずグローバル コンフィギュレーションモードを開始する必要があります。グローバル コンフィギュレーションモードから、インターフェイス コンフィギュレーションモードとラインにすることができます。

次の表に、主要なコマンドモード、各モードへのアクセス方法、各モードで表示されるプロンプト、およびモードの終了方法を示します。

表 1:コマンドモードの概要

モード	アクセス方法	プロンプト	終了方法	モードの用途
ユーザ EXEC	Telnet、SSH、またはコンソールを使用してセッションを開始します。	デバイス>	logout または quit を入力します。	このモードを使用して次の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 端末の設定変更 • 基本テストの実行 • システム情報の表示
特権 EXEC	ユーザ EXEC モードで、 enable コマンドを入力します。	デバイス#	終了するには、 disable と入力します。	このモードを使用して、入力したコマンドを確認します。パスワードを使用して、このモードへのアクセスを保護します。
グローバル コンフィギュレーション	特権 EXEC モードで、 configure コマンドを入力します。	デバイス (config) #	終了して特権 EXEC モードに戻るには、 exit または end を入力するか、 Ctrl+Z を押します。	このモードは、 device 全体に適用するパラメータを設定する場合に使用します。

モード	アクセス方法	プロンプト	終了方法	モードの用途
VLAN コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードで、 vlan vlan-id コマンドを入力します。	デバイス (config-vlan) #	グローバル コンフィギュレーションモードに戻る場合は、 exit コマンドを入力します。 特権 EXEC モードに戻るには、 Ctrl+Z を押すか、 end を入力します。	このモードを使用して、VLAN（仮想LAN）パラメータを設定します。VTPモードがトランスペアレントであるときは、拡張範囲 VLAN（VLAN ID が 1006 以上）を作成して device のスタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存できます。
インターフェイス コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードで、 interface コマンドを入力し、インターフェイスを指定します。	デバイス (config-if) #	終了してグローバル コンフィギュレーションモードに戻るには、 exit を入力します。 特権 EXEC モードに戻るには、 Ctrl+Z を押すか、 end を入力します。	このモードを使用して、イーサネットポートのパラメータを設定します。
ライン コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードで回線を指定するには、 line vty または line console コマンドを入力します。	デバイス (config-line) #	終了してグローバル コンフィギュレーションモードに戻るには、 exit を入力します。 特権 EXEC モードに戻るには、 Ctrl+Z を押すか、 end を入力します。	このモードを使用して、端末回線のパラメータを設定します。

コマンドの省略形

deviceでコマンドが一意に認識される長さまでコマンドを入力します。

show configuration 特権 EXEC コマンドを省略形で入力する方法を次に示します。

```
デバイス# show conf
```

コマンドの no 形式および default 形式

ほとんどのコンフィギュレーションコマンドには、**no**形式もあります。**no**形式は一般に、特定の機能または動作を無効にする場合、あるいはコマンドの動作を取り消す場合に使用します。たとえば、インターフェイス コンフィギュレーション コマンド **no shutdown** を使用すると、インターフェイスのシャットダウンが取り消されます。キーワード **no** なしでコマンドを使用すると、無効にされた機能を再度有効にしたり、デフォルトで無効になっている機能を有効にすることができます。

コンフィギュレーションコマンドには、**default**形式もあります。コマンドの **default**形式は、コマンド設定をデフォルトに戻します。ほとんどのコマンドはデフォルトで無効に設定されているため、**default**形式を使用しても **no**形式と同じ結果になります。ただし、デフォルトで有効に設定されていて、なおかつ変数が特定のデフォルト値に設定されているコマンドもあります。このような場合、**default**コマンドはそのコマンドを有効にし、変数をそのデフォルト値に設定します。

CLI のエラーメッセージ

次の表に、CLI を使用してdeviceを設定するときに表示される可能性のあるエラーメッセージの一部を紹介します。

表 2: CLI の代表的なエラーメッセージ

エラーメッセージ	意味	ヘルプの表示方法
% Ambiguous command: "show con"	deviceがコマンドとして認識できるだけの文字数が入力されていません。	コマンドを再入力し、最後に疑問符 (?) を入力します。コマンドと疑問符の間にはスペースを入れません。 コマンドとともに使用できるキーワードが表示されます。
% Incomplete command.	コマンドに必須のキーワードまたは値が、一部入力されていません。	コマンドを再入力し、最後に疑問符 (?) を入力します。コマンドと疑問符の間にはスペースを1つ入れます。 コマンドとともに使用できるキーワードが表示されます。

エラーメッセージ	意味	ヘルプの表示方法
% Invalid input detected at '^' marker.	コマンドの入力ミスです。間違っている箇所をキャレット (^) 記号で示しています。	疑問符 (?) を入力すると、そのコマンドモードで使用できるすべてのコマンドが表示されます。 コマンドとともに使用できるキーワードが表示されます。

コンフィギュレーション ロギング

deviceの設定変更を記録して表示させることができます。Configuration Change Logging and Notification機能を使用することで、セッションまたはユーザベースごとに変更内容をトラッキングできます。ログに記録されるのは、適用された各コンフィギュレーションコマンド、コマンドを入力したユーザ、コマンドの入力時間、コマンドに対するパーサからのリターンコードです。この機能には、登録しているアプリケーションの設定が変更されるときに通知される非同期通知方式もあります。この通知を syslog に送信することも選択できます。



(注) CLI または HTTP の変更のみがログとして記録されます。

ヘルプ システムの使用

システムプロンプトに疑問符 (?) を入力すると、各コマンドモードで使用できるコマンドの一覧が表示されます。また、任意のコマンドについて、関連するキーワードおよび引数の一覧を表示することもできます。

手順の概要

1. **help**
2. *abbreviated-command-entry ?*
3. *abbreviated-command-entry <Tab>*
4. **?**
5. *command ?*
6. *command keyword ?*

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	help 例： デバイス# help	コマンドモードのヘルプシステムの簡単な説明を表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	<p><i>abbreviated-command-entry</i> ?</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス# di?</pre> <pre>dir disable disconnect</pre>	特定のストリングで始まるコマンドのリストを表示します。
ステップ 3	<p><i>abbreviated-command-entry</i> <Tab></p> <p>例 :</p> <pre>デバイス# sh conf<tab></pre> <pre>デバイス# show configuration</pre>	特定のコマンド名を補完します。
ステップ 4	<p>?</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス> ?</pre>	特定のコマンドモードで使用可能なすべてのコマンドをリストします。
ステップ 5	<p><i>command</i> ?</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス> show ?</pre>	コマンドに関連するキーワードを一覧表示します。
ステップ 6	<p><i>command keyword</i> ?</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス(config)# wireless management ?</pre> <pre>certificate Configure certificate details</pre> <pre>interface Select an interface to configure</pre> <pre>transfer Active transfer profiles</pre> <pre>trustpoint Select a trustpoint to configure</pre>	キーワードに関連する引数を一覧表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。